

小須戸公民館報

発行 小須戸町中央公民館
〒956-0101
新潟県中蒲原郡小須戸町
大字小須戸117番地
TEL (0250) 38-2234
FAX (0250) 38-3041
編集 公民館報編集委員会

芸術の秋 文化祭を満喫

第26回町民展

恒例の第二十六回町民展が十一月三日から五日までの三日間の日程で開催されました。文化協会と中央公民館の共催で展示作品四百一点の出品があり、来館者は五百名を優に超えました。

町民展は中央公民館一階から三階までの全館を会場にして開催しました。町民展のメイン会場の三階ホールには書道、絵画、拓本、写真、鳥風、ひょうたん、押し花、工芸があり、今年から公民館の教室



である「切り絵教室」からの出品もあり目を引きました。二階では、水墨画、パッチワーク、山の手口マンホール、生け花、絵手紙、折り紙、フラワーアレンジメント、パンフレットと多彩な芸術フロアとなりました。一階では陶芸展、文芸展(俳句、川柳、短歌)、ロマンドールの展示などがあり、更にロビーでは、三日と四日に茶会が開かれ会場がにぎわいました。芸術、文芸の盛んな小須戸町。来館された方々は文化の秋を満喫されていました。

栄町より友好出演

第16回芸能祭

十一月十二日(日)



今年の芸能祭はレクダンスや社交ダンス等の初出演や、子ども樽囃子の特別出演。更には文化協会の交流会が縁となり、南蒲原郡栄町より芸能団体二組の友好出演もありました。普段なかなか観る事のない素晴らしい芸や他市町村の方のセミプロ級の芸を観る事ができ、観衆は最後まで惜しめない拍手を贈りました。



ちょこっと一言 (153)

「おはよう。」
我が家でも、この一言から一日が始まります。何気ない挨拶ですが、その日を気持ちよく過ごすためにとても大切なことだと思います。
近所の子どもたちともさわやかに「おはよう」の挨拶が交わればよい。



松ヶ丘 小林 正人 さん

なあ、と思い、ささやかな実践をしています。
毎朝、登校する子どもたちに誰とはなく「おはよう」と声をかけています。これがとてもドキドキするのです。
そのかわり、かわいいうちで「おはよう」が返ってきたときは、心から声をかけてよかったなあと思います。
職場への道も晴れやかな気分です。なにか良い一日が始まる予感があります。

『生き生きフェスティバル』

～三課合同イベント大盛況！
ご来場いただき
ありがとうございました～



※作ったものを喜んで持ち帰って行かれました。今でもお家の中に飾っていることでしょうか。

町制百十周年を記念して、十一月五日(日)町民体育館に於いて実施いたしました。
【保健福祉課】：料理コンテスト作品展示、表彰式・パネル展示・介護用品展示、実演等
【産業課】：米消費拡大PR及びアンケート実施等
【教育委員会】：「やろてば学習」をメインとした体験コーナー・学習相談・飲食コーナー等
特に、今回は、教育委員会のとりくみをお知らせします。
◆拓本：中学生も実演し興味を持っていただきました。
◆押し花：小学生や女性に人気が集。
◆フラワーアレンジメント：女性に大人気。

◆インターネット：小学生並びに男性・女性が操作に挑戦。
◆パソコン：やはり時代の先端を行く機器。このコーナーも人気でした。
◆体力調査：小学生、高齢の方大奮闘。
◆らくがき：おもいっきり何でも書いて気持ち良かった。
◆学習相談：アンケートにご協力をいただきました。これからの社会教育業務の参考にさせていただきます。
小学生から一般男女、高齢者の方々約二百五十名から参加していただきました。
「すこやか生活 学び続ける心で みんなが生き生き」をスローガンとした企画のイベントでした。
最後に、このイベントに参加協力していただいた関係者の皆様に感謝申し上げます。



学習相談の様子

(意見・要望) アンケート結果

- 施設・会場について
- ・矢代田を会場とした講座をたくさん設けてほしい。
- ・公民館にエレベーターの設置を望む。
- 講座内容について
- ・健康のために、軽い運動を楽しみたい。
- ・高齢者が気軽に楽しめる、基本的なやさしい内容を望む。
- ・パソコン講座は、短期間に集中して学習したい。
- ・パソコン講座は、自己負担でもかまわないから、時間をかけてしっかり覚えたい。
- ・人気のある講座は、昼夜別
- ・二つの団体募集を望む。
- 広報について
- ・サークル活動の募集情報を公民館に掲示してほしい。

スポーツ大会結果

十一月十二日(日)に町民体育館において開催されました。大会結果―

- 【高校生男子の部】
- 優勝 白根第一A 準優勝 安田中A 三位 小須戸中A
- 三位 白根北中A
- 【中学生男子の部】
- 優勝 秋葉中 準優勝 新発田東中A 三位 吉田中A
- 三位 白根第一中
- 【小学校高学年の部】
- 優勝 黒崎町柔連A 準優勝 白根市柔連A 三位 新潟市北部柔道クラブ 三位 小須戸町柔道クラブA
- 【小学生低学年の部】
- 優勝 新発田市柔道スポ少 準優勝 村松町柔道少年団 三位 白根市柔連A 三位 豊栄市柔連A

- 十一月十九日(日)小須戸町民体育館で開催されました。大会結果―(敬称略)
- シングルス(小学生クラス)
- 一位 高山あすか二位 松尾翔子
- 三位 鈴木悠真三位 堀裕也(小・中学生クラス)
- 一位 加藤聖三位 五十嵐成奈三位 保科祐美三位 井上詩織(一般)
- 一位 渡辺康二二位 伊藤正美三位 割野和義三位 高野美穂
- ダブルス(親子) 一位 吉沢慎哉・真佐樹二位 砂井秀斗・厚子三位 小林暖佳・恵津子三位 小柳建太・道男(小学生クラス)
- 一位 鈴木悠真・須佐香織二位 堀裕也・保科優太三位 高山あすか・中野明日香三位 松尾翔子・横山千秋(小・中学生クラス)
- 一位 砂井宏太・高山郁弥二位 田沢安衣・新井田理奈三位 加藤聖・石黒真貴三位 井上詩織・小柳匡兵(一般)
- 一位 渡辺康二・石黒利則二位 伊藤正美・馬場隆之三位 五十嵐輝男・伊藤英美子三位 中野美香・高野美穂

読み聞かせで心の財産を授けよう



「今の子どもは、あまり本を読まなくなった」と言われていますが、それは元をたどれば幼児期から読書の楽しみを知らずに育ってきたからともいえます。

公民館では、読み聞かせを通して、子どもたちが本に親しむきっかけづくりをしてもらいたい願いからと、小学校で図書ボランティア活動をされているグループからの強い要請等もあり、昨年「絵本の読み聞かせ講座」を全四回コースで開きました。

その時に受講者も多く集まり、また好評だったため、今年度はより誰でもわかりやすく、子どもと一緒に絵本を楽しむレベルから学んでもら

分館だより

新保分館文化祭

十一月二日～三日、新保地域研修センターにおいて恒例の新保分館文化祭が行なわれました。菊花展や書道、写真をはじめ、若妻会によるフラワーアレンジメントや子どもたちによる絵画展など地域性豊かな展示となりました。見学者はそれぞれの力作に見入っていました。



矢代田分館文化祭

菊薫る文化の秋。矢代田分館では、ふれあい会館において十月二十八日(土)～二十

図書だより

〈新刊案内〉

うために「子どもと楽しむための絵本の講座」という新名称で、(全十回コース)でスタートしています。

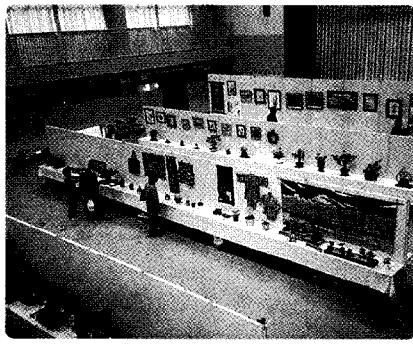
- 中央公民館 ▲ 遊動亭円木 辻原 登
- 〇腐りゆく天使 夢枕 獺
- 〇本能寺(上・下) 池宮彰一郎
- 〇黒い傷のある部屋 新井 満
- 〇睡蓮の長いまじろみ 宮本 輝
- 〇血の味 沢木耕太郎
- 〇あふれた愛 天童 荒太
- 〇獅子の座 平岩 弓枝
- 〇片桐且元 鈴木輝一郎
- 〇十津川警部愛と死の伝説 西村京太郎
- 〇平然と車内で化粧する脳 澤口 俊之
- 〇ハリー・ポッターと秘密の部屋 J・K・ローリング 他百六冊



受講者からは「今までは、読み聞かせのあとに、しつこく子どもから感想を聞いていたが、講座を受けてからは、読んだ後に子どもの世界があるの、それを大切にしたい」と、感想を寄せられました。

第23回全国スポーツ少年団剣道交流大会新潟県予選会

十一月二十六日(日)、小須戸町民体育館において、全国スポーツ少年団剣道交流大会新潟県予選会が開催され、中学生女子個人の部で小須戸九日(日)に恒例の文化祭を行いました。生け花・書道、絵画・工芸など力作がそろっていました。



中学校三年田沢葉月さん(新町四)が優勝しました。来年三月二十八日から宮崎県で開催される全国大会に出場します。

- 結果(優勝者のみ)
- 〇小学生団体の部 高田剣道スポーツ少年団(上越市)
- 〇中学生女子個人の部 田沢葉月(小須戸剣道スポーツ少年団・小須戸町)
- 〇中学生男子の部 羽鳥大雅(湯之谷村少年剣士会スポーツ少年団・湯之谷村)

催し物案内

二十一世紀の日の出

期日 一月一日
出発 午前五時三十分
集合 中央公民館前
参加費 五〇〇円
申込み 中央公民館又は協会
募集人数 二十五名(定数に
員に会費を添えて
募 成りしだい締切)
主催 山岳キャンプ協会

二年ぶりの劇団ふるさと

劇団ふるさとときやらばんの新作「噂のファミリー」一億円の花婿」新津公演が行われます。涙と笑いのひとときが、あなたを待っています。
日時 十二月二十日午後六時三十分
会場 新津市民会館大ホール
前売券 大人三千三百円
中学生二千八百円
問合せ 出会いを創ろう会
090(9425)6497

予防接種の訂正について

鈴木内科医院の個別接種のご案内の中で、接種日を毎週水曜日と広報してお知らせいたしました。第二、第四水曜日に訂正いたしますのでお知らせします。(保健福祉課)

VOICE & VOICES 私はある私を考える

歩くって、素晴らしい!

私は四十五年間、車やバイクを乗り廻して仕事を続けてきました。ところが近年、足が弱り体重が増し、寝るのが大好きになり糖が出るなど、自分のからだの変化に気付きました。そこで、昨年の九月から仕事が終わって、夜の六時頃から毎日四十分間くらい歩き続けています。

すると、どうでしょう。旅行の後も疲れなくなり、足も丈夫になり、体重も減り、糖もふつとび、本当に歩くことの素晴らしさを実感し、「うれしい!楽しい!幸せ!」という言葉持ちで毎日歩いています。

見知らぬ皆さんに会って言葉をかけると、いろんな話題が広がるのも楽しいことです。七十才を迎える歳となり、仕事の後に歩く事が今一番うれしいことです。今年の夏は汗と戦って歩きました。これからも長く続けて行きたいと願っています。

皆さんも是非歩いてみませんか、きつと「歩くって素晴らしい!」と実感することと思います。 F・K



※ご投稿頂きありがとうございます。ありがとうございました。

シリーズ 「今、子どもたちは」 (52)

豊かなかわりを求めて 矢代田小学校

矢代田小学校では、「自然や人との豊かなかわりを求めて」をテーマにチャレンジ21教育推進運動を実施しています。全校で行う活動の他に各学年ごとの活動も計画しています。以下、一年生の活動の一端を紹介します。

学校の実や枝や葉を材料にして「宝石」「弓矢」「しおり」「釣り竿」「おみくじ」「帽子」「キー」「リース」などを作りました。それらを使って、お店屋さんやゲームセンターの開店です。「いらっしゃいませ、いらっしゃいませ」と元気の良い声が飛び交います。一年生では、恵まれた矢代



文芸欄

写生子のみるみるうちに紅葉かな 五十嵐香月

開山の塔の一群赤とんぼ 馬場綾子

誰となく後ろよりくる秋のくれ 内山越楼

「酒林」語源に出遇い秋澄めり 佐久間久子

文机にざくろ一顆の明るさよ 間野良遊

丸ごとの林檎焼きある三時かな 高橋みどり

除かれし葉へまつわりし秋の蜂 東樹ちよ

つれづれに野の秋草を活けにけり 井本マツ子

ふんはりとハングライター天高し 藤井ハルエ

祭り酒今日は主治医も目をつぶり 栗原ひさし

船頭の棹にまかせる深い川 我妻清作

豚汁の味を引き出す根深ねぎ 増井都留

これまでの苦勞を語る深い鼓 高橋ただし